

令和元年度(2019年度)

決算のあらまし

令和元年度の各会計決算がまとまり、9月の市議会定例会に提案し、認定されました。

一般会計

市の財政の柱となる一般会計の元年度決算額は、歳入が1360億9230万円、歳出が1347億2907万円で、歳入歳出差引額は13億6323万円となりました。

これから2年度へ繰り越す7375万円を差し引いた実質収支額は、12億8948万円の黒字となりました。

■元年度決算の主な事業

市民の健康の維持・増進のため、「はこだて市民健康大学」をプレ開校したほか、がん検診の受診勧奨を行うなど受診率の向上に努めました。

介護人材の確保のため、就労セミナーや職場体験・合同就職面接会を実施し、介護事業者とのマッチングの機会を提供したほか、子育て支援については、大森浜児童館の建設工事を実施したほか、放課後児童クラブの利用料の軽減を拡充しました。

観光振興のため、新たな冬季のイベントとして「湯の川

冬の灯り」や「はこだてひかりのガーデン」を開催し、冬季観光の充実を図るとともに、マレーシアやシンガポールでの観光プロモーションを実施したほか、外国人観光客の消費喚起のため、「はこだて夜祭り」を開催しました。

また、企業の生産性向上のため、IT活用による共同研究や設備導入の支援のほか、イカ不漁対策のため、他の魚種等を活用した商品開発などの支援を実施しました。市民の学習や交流の機会の拡大のため、引き続き、亀田

(単位：万円)

表1 令和元年度 一般・特別会計決算

会計別	収入済額(A)	支出済額(B)	差引額(A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り越すべき財源(D)	実質収支額(C)-(D)
一般会計	1,360億9,230	1,347億2,907	13億6,323	7,375	12億8,948
港湾事業	35億4,559	34億9,272	5,287		5,287
国民健康保険事業	293億7,463	287億9,319	5億8,144		5億8,144
自転車競走事業	165億6,479	165億5,032	1,447		1,447
特別会計					
奨学資金	3,408	3,320	88		88
地方卸売市場事業	4億 481	3億9,728	753		753
介護保険事業	304億6,721	299億 343	5億6,378		5億6,378
発電事業	501	405	96		96
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2億1,389	4,795	1億6,594		1億6,594
後期高齢者医療事業	42億5,034	41億7,377	7,657		7,657
小計	848億6,035	833億9,591	14億6,444		14億6,444
合計	2,209億5,265	2,181億2,498	28億2,767	7,375	27億5,392

交流プラザの建設工事や函館市民会館の耐震等改修工事を実施したほか、美原地区路線バス乗降場整備に向けた実施設計を行い、快適で魅力あるまちづくりの推進に努めました。

■今後の行財政運営

少子高齢化や人口減少、新型コロナウイルス感染症の影響による市税等収入の減少など、今後においても厳しい状況が想定されますことから、平成29年度に策定した「函館市行財政改革推進プラン(2017(2021))」に基づき、引き続き行財政対策を推し進めていくとともに、持続可能で安定した行財政運営の確立を目指します。

特別会計

特別会計は、特定の収入を財源として事業を行うもので、一般会計から区分して収支経理を行っています。

元年度決算は、表1のとおり、全特別会計で黒字となっています。

なお、港湾事業特別会計では、クルーズ船の受入拡大のため、若松ふ頭の旅客ターミナルの整備を開始したほか、積極的なポートセールスを実

施しました。

企業会計

企業会計は、独立採算制をとっており、経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう努めています。

元年度決算は、表2のとおりです。

なお、企業会計には、一般会計からの繰入金50億232万円が支出されています。

都市基盤の整備

市では厳しい財政状況にもかかわらず、都市基盤の整備に力を注いでいます。

元年度末では下水道普及率90・7%(前年比0・2ポイント増)、道路舗装率76・7%(前年比0・1ポイント増)となっています。

◎詳しい内容は市のHPに掲載しています。

お問合せ 財政課

☎ 21・3527

※ 水道・公共下水道・交通事業は企業局管理部長課(☎ 27・8721)、病院事業は病院局管理部長課(☎ 43・2000)へ。